

中面からの続き

肝心要のロータリーの命の「例会」人と人の会う場、磨き合う機会、ロータリーを修正する機会を月2回と損なっていて、今後のロータリーを誰がどうするのだ!!

ロータリーの「目的」「定款」に基づく人づくり「育て、高めて」そして、道徳をもって、生き、職を営む倫理「今こそ、大事で、必要で、肝心要だ」と思いませんか？

今こそ、政治、経済界、大企業と一般の人々の世界にこそロータリーの倫理、道徳が必要と思いませんか。そうです、ロータリーの拡大と衰退に因果関係があるのです。その衰退を食い止めるために直木さんの言葉を引用すると「今しばし拡大を意識せず、今いるロータリアンの原石を磨く時ではないか」と言っている。

私も、つくづく古くて新しい言葉だと思えさせられます。ロータリー理念が浅く、薄くなってしまったのです。

私事ですが、戦前のアメリカの力を知り尽くしつつ、東京ロータリー創設の米山さん、大阪ロータリー創設の星野さん達は渡米し、アメリカを良く知っており、且つ、進歩的なロータリアンが沢山存在していた。もし、この人々が日本の政権を握っている立場だったら「おそらくアメリカを相手に戦争する」などとはならず、殆どのロータリアンは開戦を反対したであろうし、300万人の同胞を失わないで済んだのです。「日本沈没」の憂き目に遭遇しなかったであろう。私も5才の時、東京大空襲で焼夷弾を雨・アラレの如く落とされ「辺り一面、火の海と化した地獄絵の中を必死に逃げまどい、全く幸運にも生き残った」こんな経験をしなくて済んだ…のです。今でも恐怖に怯えることもあります。

最後に、終戦の翌年に亡くなられた米山さん存命しておられたら…、嘆きを想像してみますと…

- ・途中解散の遺恨
- ・米国と開戦の残念の思い
- ・本当のロータリー思想、哲学、精神を消滅してしまったこと。
- ・一業一会員、職業分類、例会と出席に柔軟性、ことごとく原理原則を無きものにしたこと。
- ・近年の規定審議会の動向
- ・RI主導の財団先行で人道奉仕を団体化し、慈善団体になったこと。
- ・専ら「数の力」としたい、の願望で、増強、公共イメージのみを現ロータリークラブに強いていること。
- ・復帰の条件で①「奉仕の実践」を強いる思想 ②クラブ自治権をRIが認めなくなり「クラブはRI直轄」となった。(私は自治権行使すべきと思いますが)
- ・2021年、100年の日本ロータリー」でも原始の綱領(目的)標準クラブ定款細則、倫理訓(今の行動規範)を使っているのに…何で、それに則ってロータリー運動をしないのだあ!!と。原点に戻れ!!と。

戦後のロータリー史の指針となる示唆と方向付けを頂くところまで生きて頂きたかったですね。本年、米山さんの自伝をリニューアルしました。ご希望の方に進呈致します。

**歴史は全く今を語り、今が未来を予見する!!ことなる。**

**今こそ、我々が思考を深め、為すべき義務を果たすことが望まれている!!**

以上

### 地区研修協議会報告(2)

「ポリオセッション」(金子会員)

次年度ポリオプラス委員会の川松保夫委員長の想いとして……ロータリーがポリオ根絶を世界に宣言していることはロータリアンならどなたでも知っていることと思います。多くの人がポリオってもう根絶したんじゃないの?よって自然由来のポリオはほぼ終息しており、ロータリーがこれを継続する意味があるのか?2580地区内において、ポリオプラスへの寄付金が極端に少ないクラブにはこうした誤解を根強く持っている結果であると推測されるところです。

ロータリークラブ内全般に蔓延していると思われる以上の誤解、固定観念を解くことにあります。コロナ環境下において対外的な活動が成約を受ける中、依然としてポリオ根絶までには「あともう少し」であることに重点を置いて、クラブ内に潜むこうした誤解を解くことに重点を置いていきたいと考え2021-22のポリオプラス委員会の活動を推進していく予定です。活動1)

ポリオプラス寄付金額が不芳のクラブに対して卓話を実施。勿論、要請があったクラブにも卓話を実施。活動2)

コロナ禍では有りますが、世界ポリオデーに合わせ、ポリオ啓発セミナー(仮称)を開催。活動3)

10月11日にはロータリー財団主催の「ポリオ根絶活動に関わるワークショップ」が開催される予定であり、また第2750地区主催の「世界ポリオデー トレーニングプロジェクト(仮称)」に協力。

デジタル化推進委員会(田原績委員長)(水谷会員)

(目的)

・コロナ禍の中でロータリー活動を円滑に進めることができるよう仕組みや知恵の普及を目指すこと

・デジタル技術やサービスに関して、有効活動の良い事例や推進方法を示すこと

(協議内容)

1. zoomを活用した例会の運用について

①オンライン例会…会員全員がzoomを利用する。

②ハイブリッド例会…例会場に於ける会員とzoomを利用する会員に分かれる。

\*ハイブリッド例会の場合、食事の提供が必要な会員とそうでない会員の費用分担についてどうするかという質問に対し、今後の課題だという回答があった。

2. HPのリニューアル作業のプロセスについて

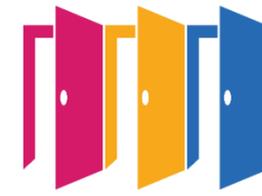
会員増強やブランディングのツールとしてHPの見直しを検討していただきたいとの提案がなされた。

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO  
BAY  
ROTARY  
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区  
VOL.30 2021年6月号



Rotary Opens  
Opportunities  
ホルガー・クナーク会長

第2580地区ガバナー  
野生司 義光(東京小石川IRC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日の卓話

なし

次回以降の予定

6月10・17日 休会

6月24日 通常例会

・5月度理事役員会報告

(1) 審議・報告事項

①6月度プログラム予定:承認

3日:次年度第2回クラブ協議会→臨時休会に変更、10日:年初より特別休会

17日:例会(緊急事態宣言延長により変更の可能性あり)→その後、臨時休会へ変更

24日:最終夜間例会→通常例会(12:30~)に変更

②4月度会計報告:承認

米山奨学残金(クラブ宛て補助金44,780円)を一般口への振替についても併せて承認

・第2回被選理事役員会報告

(1) 審議・報告事項

①2021-22年度 行事予定について:承認

東分区懇親ゴルフ大会 9月27日(月)に変更

2022年3月17日(木)通常例会⇒3月19日(土)江東RC60周年記念例会への移動例会に変更

報告事項

### 地区研修協議会報告(1)

「本会議及び会長・幹事セッション」(原田会員)

2021年4月21日、地区研修協議会は15時より本会議が行われ、その後8つのセッションに分かれ、分科会が開催されました。ガバナーエレクトの若林さんは「世界で、日本で、地域で、良いことをしよう」を目標にしています。具体的には、コロナで困っている人への支援、ポリオ根絶、クラブの活性化、会員増強、公共イメージアップなどです。また、地区のリーダーとして「もっと元気なクラブになろう」という覚悟も述べられました。会長においては、その覚悟をもって会長職を全うするようメッセージをいただきました。コロナ禍の状況での対応も求められています。

「オープン例会」セッション(岡本会員)

10月の一週間どこかで「オープン例会」が行われているという状態を目指して開催したい。

単なるイベント的なものではなく、会員候補者や入会希望者の方々にロータリークラブに対する「関心」を持ってもらえるような企画・内容にしたい。

興味を引くような卓話にするために東京ロータリークラブの会員皆さんの協力により、卓話講師を派遣してくれます。卓話講師料も通常の会員同様で引き受けてもらえます。

■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1  
ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F  
TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611  
E-mail tokyobay@club.email.ne.jp  
HP https://tokyobayrotaryclub.com

■ 役員 / 会長 岡本 隆一  
会長Ikt 原田 俊彦  
幹事 原田 俊彦  
副幹事 田中 保

会報委員長 市川 英治



私の30周年記念週報への寄稿文も締めくくりにかかり、今16回に続き、第17回を「今後の日本ロータリーのあ  
るべき」を記述して最終とします。宜しく願い申し上げます。

第十六回 「100周年を迎えた日本ロータリーの現況」  
=戦前・戦後の歴史が語る=

戦後日本ロータリーの復活、復帰にRIの2会長が来日し、とにかく「奉仕の実践をせよ!!」を条件とする。戦前に  
日本は「思想や奉仕の理想の究明ばかりしていた。実行の伴わない理想は、理想のない行動と同じ有害無益  
だ」と指摘された。加えて、条件として「クラブはRIに直結しているので、地区や国単位で固まって行動を起こすこ  
とは許さない」とさせられた。しかし、今まで認められなかった会員資格も「弁護士、税理士、会計士、僧侶、学者、  
医師、教育家、芸術家、技師」等と大幅に緩和された。日本ロータリーも復帰後、全面的に「奉仕の実践」で始  
まったこととなります。  
東京ロータリーも1949年(昭和24)当初から156人と多数の復帰会員で始まった。

戦前 (1920-1940/20年間)大正9年10月20日～昭和15年9月11日迄

ここで、一応、簡単に日本ロータリー創設から解散(1940年)まで20年間につき解説しておきます。(戦前の  
ロータリーの復習)

米山梅吉はロータリー原始の思想・原理・組織・理論構造に加え、綱領、標準クラブ定款、細則まで完成された  
運動体に共感!!

シカゴの、それに準ずる日本ロータリーの創立を試みた。

思想の、一業一会員の「職業人を育て、高め、倫理を持って職を営み、生き、世に倫理を提唱する運動体」と理  
解し、定期的に例会開催、思想のロータリーとして始まりました。

この20年間は、シカゴ発ロータリーに相似形として、ロータリーの原理原則を踏襲した。東京ロータリーの発会に  
執念を燃やしたと言えます。

梅吉は、日本の未来に必要な欠くべからざるものとして

- ・世界の大国に伍して一等国の仲間入りの後、日本の発展、特に経済界の近代化に必要な思想だ
- ・国の民主化、自由主義化にも。
- ・政治・宗教に捉われない思想が良い
- ・「職業人の在り方」から職業倫理を遵守しつつ潤沢に経済発展の為にも必要。

当時、米山は、ロータリーは

- ・「クラブとして奉仕するものは何もない」
- ・「ロータリーは個人的、精神的、非金銭的なものだ」当時のシカゴがそうだった
- ・「ロータリーは寄付団体でも、慈善団体でもない」
- ・「会員に奉仕・Service(相手を思う心)を授けるものだ」と説いた。
- ・例会は「人生道場」「切磋琢磨、自己研鑽の場だ」と力説していたのです

近代的自由主義国に行くアメリカ、そのロータリーのService(相手を思う)の思想のロータリーに魅了された。

また同時に、戦前の日本ロータリーも、殊に、日本古来の商業倫理もロータリーの「職業奉仕」を掘り下げて学ん  
でいた、石田梅岩の「商いと道德」、近江商人の「三方よし」、二宮尊徳の「報徳教」「湯舟の教え」を土屋大夢  
さんに英訳させアジア太平洋大会で発表、又、Serviceの概念を広くして「職業人の倫理のあるべき」を学び  
合った。

重複するかもしれないが、戦前ロータリーをまとめると

- ・資本主義、自由主義経済に同調する経済思想だと会社役員に職業倫理と企業経営バイブルとして受け止め  
られた。
- ・何と言っても、当時の日本経済近代化の発展に貢献した。
- ・「親睦のエネルギーから生まれた職業奉仕を中核とするロータリー思想の崇高性」を気に入った。
- ・当時、会員「ロータリーの思想の崇高性」を深く理解したのでプライドある親睦がなされた。
- ・思想、理論、実践、良く理解、納得し合っって例会を中心にクラブ親睦の良質に加えて情熱があった。
- ・軍閥の抑圧に苦しんだが、良く耐えた。
- ・苦境の時ほど会員同士、親密になり、助け合い、磨き合ったので改名後も深く続いた。

上記の如く、ロータリーの思想、原理を深く理解し、綱領、定款の通り、「会員を育てる、高める、自己研鑽、職業  
人に職業Service、商業倫理をもって職を営み」と理解し、そして「奉仕(相手を思う)の心を授ける」を探求し、  
学び、実践したのが戦前ロータリーと言えると思います。

Serviceを「奉仕」とは訳したくなかった。戦争間近でえ止む無く「奉仕」と訳した。日本国内主要都市にクラブを  
創設、そして、近隣アジア諸国にロータリークラブを開設したが軍閥の攻めを受けて1940年(昭和15)で残念  
ながら解散した!

1940年日本ロータリー解散当時

日本本州/37、朝鮮/4、満州/4、台湾/3 計48クラブであった。

※戦前の年表も作っております。ご希望の方に差し上げます。

続く

戦後 (1949年)日本ロータリー復帰(3月23日)

そして直後に

- 1950(昭和25)朝鮮動乱勃発
- 1954(昭和29)神武景気、岩戸景気(1958)
- 1961(昭和36)RI第52回 東京国際大会
- 1964(昭和39)東京オリンピック
- 1965(昭和40)いざなぎ景気
- 1968(昭和43)世界第2位のロータリー大国  
第60代 RI会長 東ヶ崎繁
- 1970(昭和45)日本ロータリー50周年 日本7地区  
大阪万国博覧会(千里)
- 1978(昭和53)RI第69回 東京国際大会
- 1980(昭和55)終戦「ジャパン・アズ・No.1」  
アメリカ大統領 ドナルド・レーガン来日
- 1982(昭和57)第94代 RI会長 向笠廣次
- 1986(昭和61)日本ロータリアン10万人を超える 世界100万人
- 1991(平成3)日本ポリオ・プラスキャンペーンに49億円
- 1996(平成8)日本ロータリアン 13万人を超える
- 2004(平成16)RI第95回 大阪国際大会
- 2011(平成23)東日本大震災
- 2012(平成24)第104代 RI会長 田中作次

正に、「もの凄い日本ロータリー史？」だと思いませんか。

復帰後、瞬間に次から次へと奉仕メニューをこなし、資本主義、グローバル経済の中に、ポリオの如く世界ロータ  
リーの奉仕を率先して行い、世界第2のロータリー大国の歴史を経て現在に至っていることがお分かりと思います。  
復帰条件のキッカケが“奉仕の実践”ではありましたが、幸か不幸か、景気の起爆剤となる朝鮮戦争に続き、神武、  
岩戸景気、東京国際大会へと“熱くなったら止まらない”1964年、東京オリンピックが拍車となり、またまた、いざ  
なぎ景気、世界第2位のロータリー大国、1978年の東京国際大会、1982年には東ヶ崎RI会長に続く向笠RI会長、  
直後、日本ロータリー10万人超え、ポリオ・プラスも日本49億円供出、バブル崩壊を横目に日本ロータリアン13万  
人を達成、大阪でも2004年国際大会開催、2008年リーマンショックを受けながら田中RI会長が実現。

この盛況下は、もちろん、自然体で「奉仕と親睦の社交クラブ」が続いたのです。そして、この間、無邪気にRI主導  
の人道奉仕メニューの奉仕に盲従していったのです。

幸せな国際大会は、私も何回か夫婦で参加しましたが、旅行気分でした。各クラブの親睦旅行、ゴルフ会、会長・幹  
事会、年末年始の会もお座敷で、地区の会議プログラムも必ず懇親会付きで。  
少なくともホテル大宴会場で、余興も入れて華やかに行ってきました。友好クラブを国内外に作り周年行事も増や  
し親睦一辺倒でした。

地区・クラブの不祥事も多発、贅沢を貪り、やや有頂天の時代を費やしたのです。驕りのロータリーだったですね。

近年、政財界、大企業も「只々、利益を上げろ」と命じた証券会社、大手電気会社社長、自動車各社の燃費偽装、  
製鋼会社のデータ改ざん、鉄道会社の検査不備、政治と金、次々と不祥事続出、企業倫理は何処へ!!

「今まで商戦に勝てる製品づくりを怠っていたながら焦って叫ぶ!!」

「会社は世の公器」と言われていたのに。

今、ロータリー100年を迎え、先人達、賢者も「原点に返れ」「不易流行」「初心を忘れるな」「誕生の理念、思想を  
忘れるな」と警告を発してきましたが・・・日本ロータリアン13万人が8万数千人を下ろうとしている現在であります。

現況

(参考)

◎近年の規定審議会

- 2016年 例会と出席に柔軟性/毎月最低2回・会員身分と職業分類に柔軟性(職業分類を削除)
- 2019年 メーカーアップ年度内・職業分類を廃止

◎今の会員在籍状況

※ロータリーの友 2021年5月号 会員数(前年同月比/2月)

日本全地区 86,332人(2021/2月)/89,539人(2020/2月) **-3,207人**  
**※30人のクラブ 100クラブ消滅と同じ**

2580地区 2,902人(2021/2月)/3,019人(2020/2月) **-99人**  
**※20人のクラブ 5クラブ**  
**30人のクラブ 3クラブ} 消滅と同じ**

上記のように相次いで増強を目論んで規定審議会で採択されたが、RIの思惑とは裏腹に会員増強には至って  
いない。 裏面に続く

日本経済復興と日本ロータリー大盛況・過熱期